

志賀原子力発電所 2 号機

非常用ガス処理系入口隔離弁の動作不調について

志賀原子力発電所 2 号機は、第 1 回定期検査中のところ、7 月 3 0 日 1 0 時 0 4 分、非常用ガス処理系^{*1}（以下、「SGTS」という。）A 系の定例試験において、入口隔離弁（A）が速やかに開きませんでした。

このため、同日 1 0 時 0 5 分に原子炉施設保安規定の運転上の制限^{*2}を満足しない状態であると判断し、運転上の制限からの逸脱を宣言しました。その後、燃料の配置換え作業を中断して、1 0 時 5 0 分に運転上の制限からの逸脱から復帰しました。

その後、当該弁の外観点検及び弁単体の動作試験を実施し、異常なく開閉動作することを確認するとともに、SGTS A 系の定例試験を再度実施し、1 6 時 1 2 分に正常に動作することを確認しました。

原因は当該弁制御用電磁弁^{*3}の一過性の不調によるものと考えられますが、念のために当該電磁弁を新品に取替えました。

外部への放射能による影響はありません。

* 1 非常用ガス処理系（SGTS）

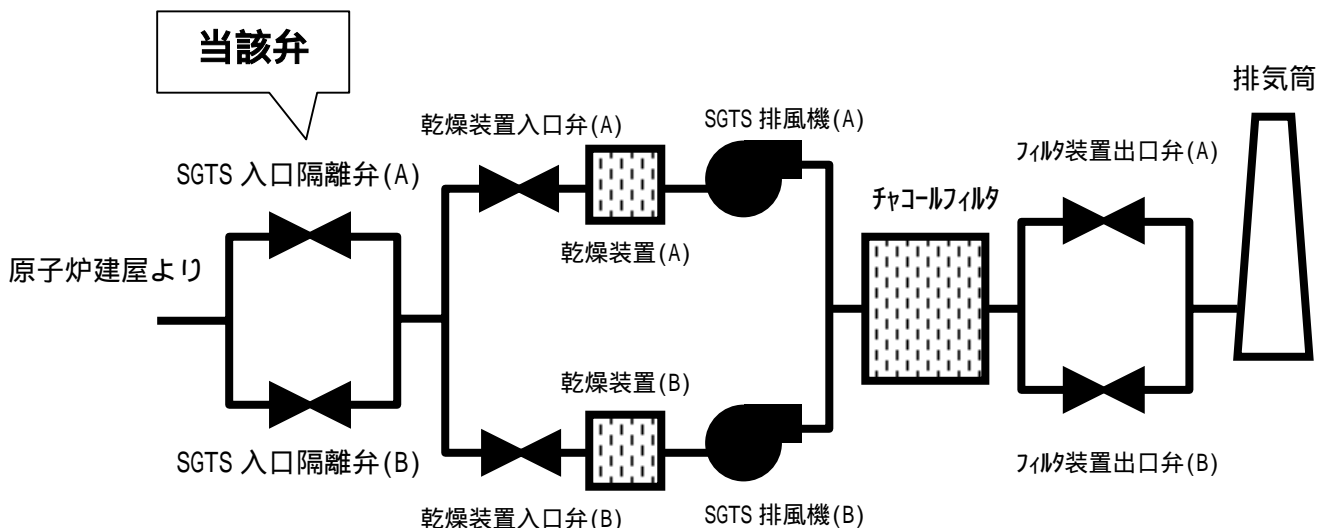
万一の原子炉建屋内の放射性物質放出時等に、建屋内の放射性物質をフィルタなどで除去することにより、放射性物質が直接外部に放出されることを防止するための設備。

* 2 運転上の制限

原子炉施設保安規定では、原子炉の運転に関し、「運転上の制限」や「運転上の制限を満足していないと判断した場合に要求される措置」等を定めている。今回は、燃料の配置換え作業時において、SGTS 2 系列が動作可能であることが要求されており、燃料の配置換え作業を中断することにより、動作可能であることの要求がなくなったため運転上の制限からの逸脱から復帰した。

* 3 制御用電磁弁

当該 SGTS 入口隔離弁は圧縮空気により開閉動作する。この圧縮空気の供給を制御するために設けた電磁石の磁力により作動する弁。



系統概要図